

2015年9月30日
株式会社日立ソリューションズ

現場とオフィスの情報共有を実現するソリューションを提供開始 フィールド業務の情報共有化により作業効率や作業品質の向上を実現

株式会社日立ソリューションズ(本社:東京都品川区、取締役社長:佐久間 嘉一郎/以下、日立ソリューションズ)は、建設作業や設備保守作業に代表されるフィールド業務を対象とした、現場とオフィスの情報共有を実現する「フィールド業務情報共有システム」を10月1日から提供開始します。

本システムは、作業案件の契約情報、作業計画とその進捗状況、さらには作業報告書や関連する図面などの案件にかかわる情報を一元管理し、現場やオフィスの作業員に対しタイムリーに情報提供するものです。

これにより、現場作業員は、報告書の自動作成や作業に必要な図面や書類をセキュアに参照することができ、業務効率や作業品質の向上を実現します。また、オフィスの管理者は、作業の見える化により状況の的確な把握と問題の早期発見、対策を行うことができます。

さらに、導入企業は、本システムが有する機能から目的に応じて必要な機能を任意に選択することで、最適なシステムを短期間で構築することが可能です。

建設・建築業、設備保守業および製造業などのフィールドに携わる業務では、作業手順書や作業報告書を紙による手作業で運用していることが多く、作業の効率向上や作業状況のタイムリーな状況把握ができないことが課題となっていました。また、注文書や作業手順書、さらには設備や機器のマニュアルなど、紙の資料を現場に持ち込むことも多く、情報漏洩防止対策やペーパーレス化も求められてきました。

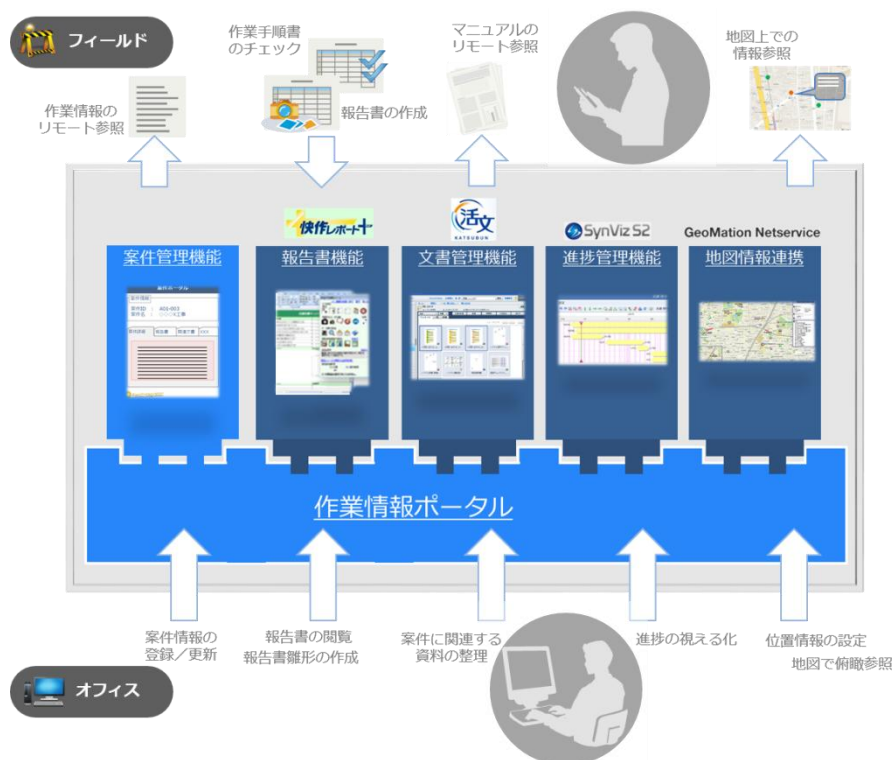
このたび、日立ソリューションズは、建設作業や設備保守のフィールド業務においてスマートデバイスを活用し、さまざまな情報を一元管理する「フィールド業務情報共有システム」を提供開始します。

「フィールド業務情報共有システム」では、作業案件の契約情報から作業計画とその進捗状況、さらには作業報告書や設計図などの情報を共有するための作業情報ポータルと、作業情報を閲覧する機能を標準で提供することで、これまで紙資料で持ち込んでいた案件の契約情報の紛失による情報漏洩を防止するとともに、現場とオフィスのシームレスな情報共有を実現します。

また、提供する主な機能として、「報告書機能」、「文書管理機能」、「進捗管理機能」、「地図連携機能」があり、各機能は実績のある日立ソリューションズグループのパッケージ製品を使用しています。導入企業は、フィールド業務における課題や目的に応じて、各機能を任意に選択してシステムを構築することが可能です。これにより、短期間かつ低コストで個別の課題に対応し、業務効率や作業品質の向上を図ることができます。

また、スマートデバイスを活用する「フィールド業務情報共有システム」を支える基盤としてのセキュリティソリューションなども導入企業の要望に応じて提供します。さらに、ウェアラブルデバイスによる機能拡張も検討し、さまざまな企業のフィールドとオフィス間の情報共有により業務改善を支援するソリューションを提供していきます。

■ 「フィールド業務情報共有システム」の概要



■ 「フィールド業務情報共有システム」が提供する各機能の特長

1. 作業案件のさまざまな情報を一元管理（案件管理機能）

現場作業者は、これまで主に紙資料として現場に持ち込んでいた注文書などの案件の詳細情報をスマートデバイスで場所を問わずタイムリーに閲覧できます。詳細情報は、案件ごとに必要な項目や値を柔軟に定義することが可能です。また、他の機能で作成した案件に関連する作業報告書や図面などの文書や進捗情報についても、作業情報ポータルから参照することができます。

2. 報告書をタイムリーに作成（報告書機能）

報告書やチェックリストの雛形を事前に Microsoft Excel で簡単に作成でき、また現場ではスマートデバイス上でチェック項目や作業内容を入力するだけで写真やタイムスタンプなどのエビデンス付き報告書を作成します。電波の届かない現場でも使用することができます。送信された報告書やチェックリストはオフィスで閲覧、共有が可能になります。本機能は、株式会社日立ソリューションズ・クリエイトの「快作レポート+」で実現します。

3. 図面やマニュアルなどの資料をセキュアな環境で閲覧（文書管理機能）

作業案件に関連する図面や作業指示書といった文書を一元管理します。また、スマートデバイスから文書にアクセスすることで現場でのタイムリーな資料閲覧が可能となり、作業効率の向上とペーパーレスを実現します。電子化した資料は適切なアクセス権管理や版管理により、資料の改ざんや漏洩を防止します。本機能は、「活文Contents Lifecycle Manager」で実現します。

4. 作業の進捗遅れを把握し、迅速に対策（進捗管理機能）

ガントチャートで、工事日程や人員計画などを「見える化」します。現場作業者が工事進捗や完成日などを入力すると、その情報がガントチャートに反映され、オフィス側の管理者は案件ごとの状況をタイムリーに把握して工程遅延への迅速な対策が可能となります。本機能は、株式会社日立ソリューションズ東日本の「SynViz S2」で実現します。

5. 地図情報を活用し、工事案件の状況を把握（地図連携機能）

地図上に作業案件や作業者をアイコン表示することで「見える化」を実現します。スマートデバイスに表示した地図上で工事情報を参照できるほか、各案件の進捗を示すステータス情報をアイコンの色や形などでビジュアル的に表示し、地図上で俯瞰して状況把握することが可能となり、問題の早期発見や対策を支援します。本機能は、「GeoMation Netservice」で実現します。

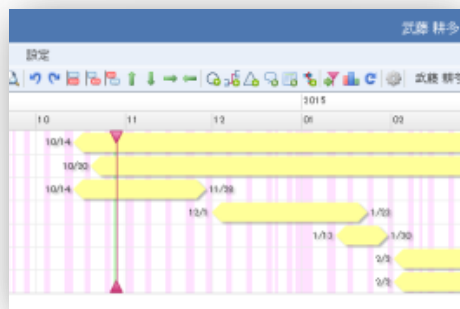
■画面イメージ



作業情報を一元管理するポータル



スマートデバイスで報告書を記入



ガントチャートによる進捗管理

■提供価格 個別見積

株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号
Tel:03-5780-2111 ホームページ: <http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ

■ 製品紹介URL

<http://www.hitachi-solutions.co.jp/fis/>

■ 商品・サービスに関するお問い合わせ先

ホームページ:<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/> Tel:0120-571-488

■ 報道機関からのお問い合わせ先

担当部署: 経営企画本部 広報・宣伝部

担当者: 竹谷、安藤

Tel:03-5479-5013 Fax:03-5780-6455 E-mail:koho@hitachi-solutions.com

日立ソリューションズ グループは、お客様の業務ライフサイクルにわたり、豊富なソリューションを全体最適の視点で組み合わせ、ワンストップで提供する「ハイブリッドインテグレーション」を実現します。

※ 活文、GeoMation、ハイブリッド インテグレーションは、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

※ 快作レポート+は、株式会社日立ソリューションズ・クリエイトの登録商標です。

※ SynViz は、株式会社日立ソリューションズ東日本の登録商標です。

※ その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号
Tel:03-5780-2111 ホームページ:<http://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ